

女性総代の積極的な参画

特別理事研究員 斉藤由理子

1 総代選出枠の変更

福岡県のJAみなみ筑後は、女性や担い手等の運営参画に積極的に取り組んできた。

まず、JA全国大会、JA福岡県大会の決議「女性、担い手等のJA運営への参画促進」を受け、JAみなみ筑後では、2007年に、総代の選出枠を従来の地区に加え、青年部、女性部、部会（生産部会）という組織枠を導入した。これにより、女性部枠の総代は57人となった。

2 女性運営参画目標の達成に向けて

次に、JAグループの女性運営参画目標「正組合員の30%以上、総代15%以上、理事等15%以上」達成のため、21年に、JAでは、正組合員数規模に合わせて総代の定数を520人から500人に削減し、そのうえで、女性総代の割合16%達成をめざし、女性総代の定数を80人に設定した。80人のうち、女性部枠57人はそのまま、それ以外の23人について、農事組合枠13人、部会女性部枠10人を新たに設定した。新基準による21年の総代選挙では、86人の女性総代が選出され、その割合は17%となった。

さらに、正組合員の減少を反映して、理事定数を25人から20人に削減、女性部による理事2人の推薦に代えて、4地区から1人ずつ計4人の女性理事枠を設定し、女性理事の割合を20%とした(注1)。

女性理事3人が事務局案はであったが、理事会で男性理事から4地区で4人という意見があり、2人増員の4人となった。

3 総代会に向けた準備

07年から毎年、女性総代は総代会で発言している。今年も2人が発言した。女性部では総代会での発言について、予め女性部内で話し合い、JAの女性部担当者の助言も参考にし、質問内容を考えている。担当者の提案で総代会前に発言内容をJAに提出する。

また、23年2月下旬には、JA本店で女性総代40人と組合長、専務も出席して、総代の役割、協同組合、女性の運営参画についての研修が、福岡中央会の職員を講師に行われた。組合長は「JAでは女性の積極的な参画を期待している。」と話した(注2)。

4 総代会での女性総代の発言

23年6月28日にJAみなみ筑後の第28回通常総代会が開催された。第1号議案から第9号議案まで可決されたのち、第9号議案の可決により選任された理事が壇上に並び、1人ずつ挨拶をした。ここには4人の女性理事の姿もあった(写真)。3人は女性部、1人は部会女性部に所属する。

総代会では毎年、女性総代が会場の前方中央にまとまって着席する。10年ほど前に当時の女性部長が「みなさん、ここに集まって座りましょう」と声をかけて、始まった。現女性部長の下川氏は、「JAについていろいろなことがわかるから、総代会にはぜひ出席してほしい」と女性総代に声をかけている。

総代会では、総代3人から発言があった。

1人目は男性で、JAの園芸作物のビジョンについて質問した。以下、2人の女性総代の発言をやや詳しく紹介する。

まず、「JAみなみ筑後では正組合員4,600人に対し、准組合員が6,800人と逆転している。毎月、JAの広報誌「GREEN PEACE」が正組合員に配られる

が、准組合員にも広報誌やちらしを配ってほしい。また、広報誌を准組合員にもわかる内容にしてほしい。JAのよさを多くの人にアピールし、JAを利用してもらえるようにしたい。」との意見に、「JAは准組合員のメンバーシップを強化する方向で考えている。准組合員には、毎年出資配当のお知らせとともに、准組合員向けのちらしを届けている。」とJAは回答した。

また、「JAの女性運営参画目標のうち、理事と総代については目標を達成できるようだが、正組合員の30%という目標はなかなか難しい。女性部も協力して働きかけているが、部会や他の組織にも目標達成のために協力してもらい、よりよいJAみなみ筑後を作りたい。」との提案について、JAからは、「正組合員に占める女性比率は5月末で21.9%。女性



写真 JAみなみ筑後総代会(筆者撮影)

比率引上げに女性部に協力いただき感謝している。JAでは部会の役員会で、正組合員の女性比率引上げについて説明し、部会の役員に女性を登用するようにも勧めている。今後とも女性部と一緒に取組みを進めていきたい。」と回答した。

5 女性部の枠を超えて

全国や県の方針が背景にはあるが、これまで女性部の代表が総代会や理事会で積極的に発言してきたことが認められ、また女性部が女性比率の引上げを要望してきた歴史があって、女性枠の拡大は実現したと考えられる。

このことは、女性部の枠を超えた女性の参画にも結び付いた。下川女性部長は女性部以外の理事に、「女性部とは違った、広い視野での発言を期待している」と語っている。

男女共同参画の次のステージは、男女という属性のみにとらわれない、多様な人材の参画であろう。JAみなみ筑後の取組んできた、多様な組合員の運営参画の成果に期待したい。

(さいとう ゆりこ)

(注1)農林水産省九州農政局福岡県拠点(2023)「JA役員への女性登用拡大に向けた新たな取組・工夫～CASE1 JAみなみ筑後の取組～」3月

(注2)日本農業新聞(2023)「女性総代40人 役割学が積極的な参画を JAみなみ筑後が講座」県版福岡、3月18日号